



# 1月の園だより



学校法人 志賀学園  
平第一幼稚園  
令和4年1月11日

## あけましておめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。ご家族皆様で過ごされたお正月は、大切な楽しいひとときであったことと思います。

また、今年もコロナウィルス感染症に気をつけながらのお正月だったのではないかと思います。お正月休みの間、閑散としていた幼稚園に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。1月は、凧揚げやこま回し、カルタや福笑い、羽根つきなどの遊びを楽しみたいと思います。羽根つきには子どもの厄を払う、凧揚げには子どもの願い事をのせて天に届けるといった意味があるようです。今月は、幼稚園でもこのようなお正月遊びをみんなでやり、昔ながらの遊びを十分に楽しんでいきたいと思っています。

また、松の内の最後7日は「春の七草」でしたが、七草粥を召し上がったご家庭も多かったのではないのでしょうか。七草とは、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ（カブ）、スズシロ（大根）です。お正月に、つい食べ過ぎて疲れた胃腸にとって優しい食べ物ですね。

また、11日は、「鏡開き」です。神様にお供えをしていた鏡もちを、木づちでたたいて開きます。「切る」や「割る」は縁起がよくない言葉のため「開く」と表現します。「鏡」は円満、「開」は末広がりを意味しています。家庭円満に過ごせますようにと願いながら開いたおもちを食べてみましょう。

さて、理事長先生から年頭の挨拶で来年度の教育方針が提示されました。

4月からスタートする令和4年度の教育方針は『楽しい保育を続けよう』

こども第一主義(こどもの笑顔を最優先)です。保育目標に対して大切なことは、

- 1, こどもたち一人ひとりに愛情をもってかわいがり、そのこどもの育ちをよく理解する
- 2, こどもたちに多様な体験をさせ、感性を育てる
- 3, こどもも保護者にも安心・安全な環境を整える

私たち職員は、この方針を受け子どもたちの喜ぶ姿が見られるよう楽しい環境を設定し、遊びを通して総合的に保育をして参ります。

3学期は一年の締めくくりであり総仕上げの時期です。新型コロナウイルス対応として手洗い、うがい、マスク着用、3密を避けるなどを意識しながら、子ども達が、楽しく充実した園生活を送れるよう、職員一同精一杯努めて参りますので、今年も宜しく願い申し上げます。

吉竹 芳江